

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 地域医療研修推進事業費補助金

(地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 医療人材確保係

電話番号：058-272-1111 (内 2625)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,500千円 (前年度予算額：1,500千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,500	0	0	0	0	0	1,500	0	0
要求額	1,500	0	0	0	0	0	1,500	0	0
決定額	1,500	0	0	0	0	0	1,500	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内には中小病院及び診療所が多く、地域でニーズの高い診療科目を横断的・総合的に診療できる総合診療医が求められている。

現在の総合診療医の育成は、各医療機関がそれぞれプログラムを作成して実施しており、ノウハウが共有されていないため、全県的に総合診療医育成のための地域医療研修プログラムを検討し、県内の地域医療研修を充実させる必要がある。

(2) 事業内容

全県的な地域医療研修体制を構築し、医師の県内への呼び込み・定着を図るための以下の事業に要する経費に対し、補助金を交付する。

ア 岐阜県版総合診療医の研修体制の整備

- ・ 診療所・病院間連携の専門医プログラムの作成、更新に向けた検討
- ・ 先進的に教育システムを確立している施設の教育ノウハウを県全体

- で共有し、岐阜県ブランドの研修体制を確立
- イ 初期臨床研修における地域医療研修システムの改善
 - ・ 医師不足圏域でより多くの研修医が研修できる場づくり
 - ・ 指導できる人材の育成及び指導の機会の拡大
 - ウ 岐阜大学医学生等の県内定着への支援
 - ・ 総合診療に関する研修会の開催
 - エ 総合診療医育成拠点整備への支援
 - ・ 岐阜大学医学部附属病院総合診療部と経験豊富な総合診療指導医が在籍する地域の医療施設が連携した総合診療医育成拠点整備に向けた検討会の開催
- (補助先) 岐阜大学医学部
(補助率) 10/10

(3) 県負担・補助率の考え方

事業費全額について地域医療介護総合確保基金を充当

(4) 類似事業の有無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,500	地域医療研修の質の向上のための事業に要する経費への補助
合計	1,500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想
第7期岐阜県保健医療計画

事業評価調書

新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域医療研修を充実させ、岐阜県ブランドの研修体制を作ることにより、医師の県内への呼び込み・定着を図る。また、地域医療機関での研修体制を充実することにより、育成体制の強化とともに医師不足圏域の活性化及び医師の確保を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
人口 10 万人対医療施設従事医師数	173.0 人 (H18)	195.4 人 (H24)	202.9 人 (H26)	208.9 人 (H28)	235.9 人 (R5)	88.6%
	(H)	(H)		(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

平成 30 年度の新専門医制度開始から、岐阜大学総合診療科や県内医療機関で調整を行った結果、県内で 7 つの総合診療専門研修プログラムが策定された。

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

平成 30 年 4 月の新専門医制度開始時点で 3 名の医師が、平成 31 年 4 月には 1 名の医師が、令和 2 年 4 月に 2 名が県内の総合診療専門研修プログラムに登録した（全国の総合診療専門研修プログラム登録医師は、H30.4 登録が 184 名、H31.4 登録が 179 名）。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	現在の地域医療研修は医療機関ごとに作成しており、先進的な教育ノウハウの共有が求められている。また、指導医の育成機会を作ることにより、診療所等で勤務する医師が増え、地域医療の活性化に繋がる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	事業実施により7つの県内専門研修プログラムが作成され、また、へき地診療所を含む多くの医療機関が連携施設として参画することができ、成果が表れている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	県内の地域医療研修の調整を行っている岐阜大学が主体となって実施する検討会に対し支援することで、県内医療機関への参画依頼が容易にでき、効率的に事業を進めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 できるだけ多くの医療機関で地域医療研修の指導ができる指導医を育成し、体制を整える必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県全体で地域医療研修をシステム化・ブランド化していくためには、単年度では実施できず、複数年の積み上げにより岐阜県ブランドの研修体制確立を図る。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	